

2022 年度 福祉助成金（活動助成） 成果報告書

ふりがな	ちーむおかやままぜごはん	
団体名	チーム岡山まぜごはん	
代表者名	綾部小百合	
連絡先	住所	710-1301 岡山県倉敷市真備町箭田 3827-5 今村方
	TEL	090-3171-1910
	E-mail	teammazegohan@gmail.com
	URL	https://www.facebook.com/okayama.mazegohan
設立年（西暦）	2018 年	
助成活動名	岡山県在住の外国人・技能実習生との日本文化体験と地域住民との交流	
助成額	300,000 円	
活動内容	目的	<p>ボランティアグループ「チーム岡山まぜごはん」は、2022 年 4 月より財団法人橋本財団の助成を受けて、外国から来た人を「労働者」として捉えるのではなく、「隣人」として迎え入れ、触れ合う場を提供する目的で、つくぼ片山家で以前から行っていた「おしゃべり喫茶」（地域コミュニティの場）に、外国人を迎え入れて触れ合いの場を提供する活動を行っている。</p> <p>外国人の中でも急増しているのがベトナムからの労働者である。国を離れ日本で労働しながら技能を身に付けている彼らの中には、幼い子供や家族を国に置き、家族に仕送りするために働いている人もいる。彼らは一定の期間日本で暮らしているが、外国人同士で会社の社宅などで暮らしている為、日本人との交流をする機会が職場以外には余りないのが現状である。縁あって、岡山に暮らし始めた彼らに、地域に住む人々との交流の場を作りたいと考えた。</p> <p>私たちチームおかやままぜごはんでは、これまで積み重ねてきた地域再生、居場所づくり活動の一環として、外国人の方も気軽に参加できる交流の場を設け、岡山県内在住の外国人との異文化交流を行い、地域の中であらゆる人たちと楽しめる場づくりを目的としている。</p>
	内容	<p>●おしゃべり喫茶</p> <p>毎月第 3 土曜日の午後に開催する「おしゃべり喫茶」は、誰でも気軽に楽しく語らい集える場として地域に根付いている「サロン」です。ここに岡山に縁あって住むことになった外国人も地域の仲間として参加してくれている。日本人・外国人の区別なく、地域の人たちとの触れ合いの場での語らいは、普段「職場」と「自宅」との往復だけでは体験できない、「国籍」「性別」「年齢」を超えた関係性を築いている。</p> <p>●参加している外国人</p> <p>毎月「おしゃべり喫茶」に参加してくれているのはベトナムからの実習生である。最初は言葉が通じるか、食べ物は何かがいいのか気になることはたくさんあったが、実際は心配するほどの障害は全くなく、そこにあるのはごくごく普通の座談会であった。お茶を飲みながら好きな食べ物や、ベトナム料理の作り方、ベトナム語の話し方、日本語の説明等、国籍は違っても話す内容は何も変わらないことがわかった。</p>

●ふれあい交流

日本人では当たり前な些細な事でも、海外の彼らにはわからないことも多く、聞いてみればああそうかと認識することが多数存在する。

- ・自転車の二人乗りはダメ
- ・部屋を借りるのに保証人・敷金・礼金がいる
- ・買いたいものがあるがどこに売っているのかわからない・・・etc

困っていたら「つくぼ片山家」のおばちゃん・おじちゃんに聞いたらなんでもわかるよ。といった感じで交流は始まっている。

●日本の伝統文化体験

日常生活の話題はもとより、「つくぼ片山家」という江戸時代から続いた古民家でのサロンは日本伝統文化の体験もできる特色を持っている。

・お抹茶体験

茶室での本格的なお点前は、日本人でも初めて飲む人は「苦い」イメージがあるが、思いのほか美味しかったようで、何杯もお代わりをして、茶せんでシャカシャカ楽しそうにお茶を点てる様子は、ほほえましいものであつや。(ただ、足のしびれには困っていたようだ。)

・ひな祭り

片山家にはたくさんのお雛さまが収蔵されている。古くは明治時代からのお雛様もあり、御殿雛を飾るときには一緒に、「これほどこの部品？」とまぜごはんメンバーと悩みながら組み立てている姿はほほえましかった。

・野草茶

ドクダミ・ビワ・スギナといった、片山家の庭でとれた植物を乾燥させ煮出した野草茶は、植物によって効能も様々で、翻訳アプリを使いながらこの葉はここに効くとわいわい盛り上がり楽しんでくれていた。

・わたしものがたり

9月は毎年「わたしものがたり」を開催している。これは、地域の方が自分の人生の中で一番嬉しかったこと、楽しかったこと、思い出に残っていること等、一枚の写真を選んでお話をしていただく企画で、今回はベトナム語の通訳付きで開催した。

・外国人のための能楽講座入門

より多くの海外の方につくぼ片山家の活動や、日本の伝統文化「能楽」を知ってもらう機会を作りたいと考え、岡山市内中心部・林原美術館において英語通訳付き能楽講座を企画した。アメリカ・中国・マレーシア・ベトナム・ブラジル・アイルランドといった国からの参加があり、能面や装束を間近で見れる貴重な機会となった。

・片山家での結婚披露宴

ベトナム人カップルの結婚披露宴を片山家で開催した。能舞台を会場として、職場から同僚のベトナム人もたくさん参加して、若いカップルの門出をお祝いした。後日、おしゃべり喫茶で結婚式の写真を見ながら、「みなさんのおかげで素晴らしい結婚式になりました」と語ってくれたのは、メンバー全員がこの活動をやってよかったと感じた瞬間となった。

成果	<p>「おしゃべり喫茶」に参加する地域の方々とベトナム人実習生との交流は、国際交流と肩ひじを張らず、自然な形で行われているのは特筆すべき事象ととらえている。畑で採れた野菜の食べ方や、料理の仕方を話していると、「ベトナムにも似た野菜がある」「料理はこんな風にする」「今度作ってみよう」等会話はごくごく自然に広がっている。</p> <p>自国に帰った時に、「日本」「日本人」の思い出が楽しいひと時であったと感じてもらえるような「場」になるべく、誰でも居心地のいい居場所になるよう努力していきたい。</p>
----	--

今後の課題と対応策	<p>コロナウィルスの流行は多くの企業が影響を受け、日本で働く外国人の雇用状況が不安定化し、また円安による経済の変動も影響を及ぼしている。収入の減少は生活費や自国への送金などに困難が生じるケースが出てきている。</p> <p>「おしゃべり喫茶」に参加したくても、感染後の仕事の増加で土曜勤務になったり、減少した収入を補うために残業を希望する状況にある。</p> <p>課題：我々の活動をもっと多くの外国人に知ってもらうために、どのようにすればいいのか？</p> <p>対応策：実習生の目につくところに「おしゃべり喫茶」のチラシを掲示しておろう（日本語・英語・ベトナム語・中国語等）多言語での案内文を作成する。</p> <p>SNSを通して活動を宣伝していく。</p> <p>他の外国人支援団体との連携を図る。</p>
-----------	--

写真の提出	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> </div>
-------	---





	参加人数	ベトナム	ボランティア
4月	6	4	4
5月	7	3	4
6月	9	4	4
7月	4	4	4
8月	4	12	4
9月	8	6	4
10月	6	4	4
11月	7	2	3
12月	14	0	6
1月	6	0	3
2月	休止		
3月	19	0	4
合計	90	39	44